

第3回 さいたま市教育行政点検評価委員会

日 時 令和3年8月2日（月）
午後1時30分～
場 所 教育委員会室

－ 次 第 －

1 開 会

2 議 題 (1) 第2回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について
(2) 各施策についての点検・評価（総括）

3 閉 会

第3回さいたま市教育行政点検評価委員会 出席者名簿

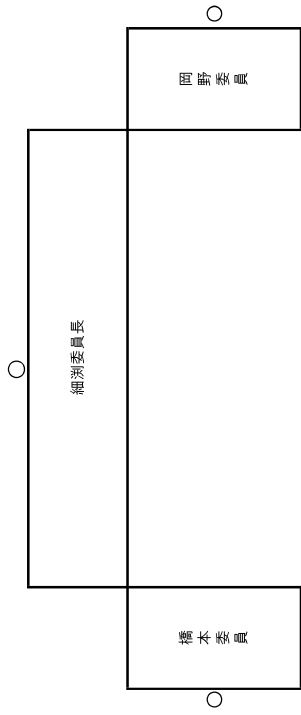
1 さいたま市教育行政点検評価委員 (敬称略)

職	氏名	役職等
委員長	(ほそぶち とみお) 細渕 富夫	川口短期大学特任教授
委員	(はしもと まさはる) 橋本 正晴	青少年育成さいたま市民会議常任理事
委員	(おかの いくひろ) 岡野 育広	さいたま市PTA協議会会長

2 事務局

	氏名	役職
1	野津 吉宏	管理部 参事
2	玉崎 芳行	管理部 参事(兼)教育政策室長
3	片倉 淳平	〃 教育政策室 室長補佐
4	石原 裕太	〃 教育政策室 主幹
5	鐘ヶ江 順平	〃 教育政策室 主任

第3回さいたま市教育行政点検評価委員会



管理部参事 教育政策室長

○ ○

傍聴席(3席)

○ ○ ○

教育政策室 室長補佐	○	教育政策室 主幹	○	教育政策室 主任	○
---------------	---	-------------	---	-------------	---

令和3年8月2日

議題（１） 第２回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について

《 2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成 》

1-(1) グローバル・スタディの充実

- ・引き続き、グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指し、本市独自の英語教育「グローバル・スタディ」の充実を図ってほしい。
- ・教員の海外の大学における研修の検討をはじめ、研修や研究を充実させることで、教員の英語力、指導力の向上を図ってほしい。

1-(5) オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際性・社会性の育成

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けた事業もあったが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会という貴重な機会を生かしたその他の取組を進め、国際性や社会性をはぐくんでほしい。

1-(7) 未来（みら）くるワーク体験（中学生職場体験事業）の推進

- ・未来（みら）くるワーク体験については、コロナ禍で実施が難しい面もあると思うが、各学校・企業の実情に合わせ、本事業の趣旨を踏まえた代替案等も含め、職場体験ができるよう取り組んでほしい。

2-(1) 道徳教育の推進

- ・児童生徒に、他者と共によりよく生きる基盤となる道徳性を養うため、例えば、表彰制度を取り入れるなど、様々な取組を研究しながら、更なる道徳教育の推進を図ってほしい。

2-(2) 心のサポート体制の推進

- ・学校の教育相談体制については、スクールカウンセラーの全ての市立学校の配置に加えて、SNSの活用による相談窓口の開設など、充実した体制がとられており、引き続き、児童生徒が相談しやすい環境の構築に努めてほしい。
- ・学校を側面から支えるスクールカウンセラー等については、より良い人材の確保を図るとともに、各学校に安定して配置・派遣できるよう努めてほしい。

2-(3) スクールソーシャルワーカーの拡充

- ・引き続き、スクールソーシャルワーカーを全ての市立学校に配置・派遣することに加えて、スクールソーシャルワーカー地域連携会議の開催などの各取組を通じて、児童生徒の置かれた様々な環境にきめ細かに寄り添う支援を行ってほしい。

3-(1) 子どもたちの体力向上の推進

- ・「新体力アップメニュー」の活用などの各取組を推進し、児童生徒の運動の習慣化や体力の向上が図れるようにするとともに、指導方法や実技に関する研修会を通じて、引き続き、教員の指導力の向上を図ってほしい。

3-(2) オリンピック・パラリンピック教育を通じた体力向上の推進

- ・「beyond2020 マイベストプログラム」の実施後も、その取組を継続し、児童生徒が目標をもって運動に取り組めるようにしてほしい。

《 3 人生 100 年時代を輝き続ける力の育成 》

1-(1) 公民館を通じた生涯学習環境整備の推進

- ・コロナ禍においても、オンライン講座の実施など、取組方法を工夫することで、引き続き、「地域の学びの拠点」として重要な役割を果たしてほしい。

1-(2) 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進

- ・図書館ビジョンの掲げる基本理念「本と人 人と人が出会う『知のひろば』」の実現に向け、幅広く資料収集したり各種講座を開催したりするなど、「地域の知の拠点」として市民が質の高い生涯学習に取り組めるよう、努めてほしい。
- ・障害のある方の読書環境の推進に当たっては、点字資料等の図書資料の更なる充実を図るなど、環境整備をより一層進めてほしい。

1-(4) 文化財保護の推進

- ・市内には多くの観光資源である各種文化財が存在するので、それらについても保存・活用を進め、更なる市の個性や魅力を発信してほしい。

1-(8) 公民館・図書館施設リフレッシュの充実

- ・公民館・図書館施設については、地域や時間によっては混雑する状況もあるため、引き続き、利便性の向上を図るとともに、安全・安心な学習環境の整備に努めてほしい。

《 4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実 》

1-(1) コミュニティ・スクールの充実

- ・コミュニティ・スクールについては、試行錯誤の中での実施だと思いが、仕組みをより周知するとともに、全校実施に向け、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進してほしい。

1-(3) チャレンジスクールの充実

- ・コロナ禍の影響により、中止や縮小した取組もあるが、チャレンジスクールは、地域と学校が連携・協働して様々な活動をすることで地域住民と交流ができるよい事業なので、子どもたちのニーズに応じた満足度の高い活動の充実に向け、感染症対策を講じながら、一層推進してほしい。

1-(4) 学校安全ネットワークの推進

- ・通学区域の安全性を高めるため、登下校の巡回活動を更に強化していくに当たり、例えば人員の増員など、活動に係る補助や助成について検討してほしい。

2-(1) 「自分発見！」チャレンジ up さいたまの推進

- ・体験活動やボランティア活動について、児童生徒や保護者に向け、各種媒体を活用し広く周知することで、より多くの児童生徒が参加できるようにしてほしい。